

同僚の実践からICTの活用を考える

- 目的 互いの実践から授業における ICT の活用について考え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、児童・生徒の資質・能力を育む手掛かりとする研修会です。
- 対象 校内
- 時間 50分
- 形態 全体→グループ→全体→個人
※グループの分け方：4人程度で教科や学年が混在しているグループ構成
- 準備物 実際に使用した機器
模造紙（グループ数）
付箋紙（人数分×10枚）
黒サインペン（人数分）
授業映像や画像、学習指導案 ※状況に応じて用意
プロジェクタ、実物投影機 ※画像を投影するものとして、状況に応じて用意
省察用の用紙 ※状況に応じて用意

●研修前

- 提案者、提案順、準備、グループ構成等を決定し、事前に通知する。
- 研修会の概要等について、予め紙面等で伝達し、効率化を図る。
- 研修にあたって、解決したい自己の課題を確認しておく。

●研修

流れ	進め方	留意点等
1 研修の説明 【全体】(5分)	○会の目的、流れ、時間、形態を確認して、見通しを持つ。	○目的は上記「 ■目的 」参照 ○流れは左欄「 流れ 」参照
2 提案者の説明 【全体】(5分)	○ICT の使用目的や方法、場面、効果等を中心に説明し、実演する。	○実演を行う場合は、使用機器を用意する。 ○状況に応じて、授業映像や画像、学習指導案等を用いて説明する。「 ■準備物 」参照
3 体験 【グループ】(5分)	○機器を操作する。	○できれば、使用する機器をグループ数用意し、操作方法やその良さを体感する。 ○グループの分け方は上記「 ■形態 」参照
4 協議 【グループ】(15分) ①付箋に記入 ②付箋の貼付 参考資料 ③良さの整理 参考資料	○ICT を活用することの良さを捉えて付箋に書き出す。 ○模造紙に付箋を貼る。 ○どのような授業改善につながっているかを話し合い、模造紙上に書き出す。	○上記での「2 提案者の説明」と「3 体験」を基にする。 ○良さの理由を説明しながら付箋を貼る。内容的に近いものは重ねたり分類したりする。 ○ICT の強みや特性を踏まえて、アクティブ・ラーニングの視点から整理する。 例1)「見通しを持ちやすい」 例2)「思考を広げ深めやすい」 例3)「振り返りを行いやすい」
5 共有 【全体】(15分) ①グループ発表 ②まとめ	○グループの代表者が、グループでの協議について発表する。 ○共有した内容を整理し、今後の方向性等を明らかにする。	○「4 協議」の「③良さの整理」を中心に発表する。 ○学校として育成したい資質・能力に迫るための、ICT の活用について整理する。
6 省察 【個人】(5分)	○今後の方向性等を踏まえて、取り組むべきことを記述する。	○次の点を踏まえて記述する。 ・個人として課題に感じていること ・個人として取り組むべきこと

●研修後

個人での省察を踏まえて、教科や学年ごとに目指す子供の姿を見直し、ICT の活用を通じた授業改善について話し合う。

(参考資料) まとめ方のイメージ

(良さを整理した模造紙)

